

領域	分掌名	自己評価			学校関係者評価		総括
		評価（目標の達成度・実施状況等）	総括	次年度への課題・改善点	意見	次年度への改善点	改善方策
進路指導	進路指導部	<p>○「生徒の進路に関して、学校と家庭や地域との連携は良くとれていますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に協力してくれる企業や団体を得ることができた。 ・生徒・保護者へ十分な進路相談を行えなかった。 <p>○「将来の進路について考える機会や情報が提供されていますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所合同説明会の実施、夏季休業中の事業所への見学等のお知らせを行った。 ・PTAと協働して年間2回の研修会を実施した。 ・進路だよりを毎月発行したが、情報提供が十分にできなかった。 <p>○「生徒や保護者の気持ちや要望をとらえ、学校と家庭と一緒に進路について考えていますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問、個別面談、連絡帳の中で、進路相談や生活支援の相談など、個別に相談に応じた。 ・普通科では、後期の現場実習後の面談を実施しなかった。 <p>○「校内実習や現場実習は適切に行われていますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査や面談を通して、計画的に実習を行うことができた。 ・校内実習の仕事量が足りなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との関係作り、情報共有などを丁寧に行ったことで、本校への理解や協力を深めることができた。 ・協力企業や団体はあるが、活用するために教育課程の柔軟さや工夫が必要である。 ・保護者との進路相談が足りなかった。 ・進路相談の呼びかけや情報提供は行っていたが、十分な認識を得られていなかった。保護者からの要望やニーズをつかむことができず、十分な進路情報の提供ができなかったの ・保護者との進路相談の機会を増やしたり、進路指導部の担任へのサポートを厚くしたりすべきであった。 ・希望や課題に合った実習先を選び体験できたことで、生徒にとって実りある実習を実施することができた。 ・仕事を提供してくれる企業の開拓が必要であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「キャリア教育」「事業所の形態や手続き」などの進路に係ることについて職員の理解を深める。 ・情報の提供や進路研修・研究の機会を増やす。 ○普通科の企業就労希望者への進路指導 ・日頃の指導方法について職員の共通理解を図る。 ○進路情報の提供。 ・進路だよりの内容を充実させる。 ・保護者のニーズを把握し研修会や施設・企業等の見学会の企画をする。 ・教育課程に沿って、外部実習や外部団体のセミナー開催など、新たな教育活動を計画・実施する。 ○保護者との進路相談の充実。 ・後期進路面談を設定する。 ・進路相談をさらに丁寧に行う。 ○生徒のニーズに合った実習先の選定 ・個々に応じた実習先選定をする。 ・校内実習での仕事を提供してもらえる企業を開拓する 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路担当の先生方には、個別には良く対応してもらっていると思う。しかし、情報が個別（生徒）に留まるようなので、保護者にも届くような発信をしてもらいたい。 ○進路説明会や福祉サービス事業所の説明会等の対応はよくできている。 ○普通科の生徒で企業就労を目指す生徒やその保護者には、「あせり」や「不安」を感じさせている。 ○進路担当の人数は足りていますか。 ○二学科併置で、隣が見えるからこそ、今後、保護者からの要望もふえるのではなかろうか。 ○福祉サービス施設と学校の連携も図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門学科で行っているようなことを、できるのであれば普通科にもやってもらいたい。やらせてみて、できなければそれでしかたがないが、可能性は残してほしい。 ○普通科生徒の「企業就労希望者の指導の充実」を図ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「次年度への課題・改善点」に記載した項目のうち、特に『普通科への企業就労希望者への進路指導』に力を入れて取り組む。 ○研究研修部と連携して、「進路に関する」研修会や「障害年金」に関する研修会を実施する。
総務部	安全管理 PTA活動	<ul style="list-style-type: none"> ○教育設備の整備に努力し、美化・整理整頓等は行き届いているか。 ・清掃の時間が十分確保できず、教室棟の階段清掃など、十分に清掃ができていなかった。また、職員清掃が徹底できていなかった。 ○安全に配慮した教育環境の整備に努め、災害時の避難・対応・連絡体制は十分に整っているか。 ・避難訓練においては、実際災害が起きた場合のことを考えると、実践的ではない場面があったが、実際に災害が起こった場合のことをより想定した避難訓練を計画に変更した。 ○学校・家庭・地域の連携が良く取り、保護者、地域が参加しやすいよう行事を工夫しているか。 ・同窓会活動において、保護者が主体的に参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除や行事前の清掃は充実していたが、日々の清掃活動は不十分で美化・整頓が行き届かないことがあった。 ・安全面に関しては、定期の安全点検などを確実にを行い、安全に配慮した教育環境を整備できた。災害時の避難については、より実践的な避難訓練になるよう研修を積むことができた。 ・同窓会活動において、保護者があまり主体的に活動できず、多くの行事を教師が運営することになり、負担が重くなっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クリーンデー時に職員清掃が徹底できるよう、職員の清掃分担を明確化する。 ○避難訓練に関しては、毎回の訓練の反省を生かすとともに、他校の実践例なども参考にし、更に改善する。 ○同窓会の組織や活動について、同窓会役員やPTA役員と連携して、卒業の保護者が主体的に活動できるよう、活動マニュアルを作成して、説明する機会を設定する。 	<p>特になし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○除草作業等については、保護者と連携して、保護者参加の活動にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価の「次年度への課題・改善点」に記載した項目に加えて、『夏季休業中の職員清掃日（除草作業を含む）』等を設定する。PTA活動の一環として実施する。
研究部・概括	研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ○「保護者のニーズに応じた研修会を実施しているか。」 ・夏季研修は、職員のみアンケート調査で内容を決定してしまった。 保護者には、参加の案内を行った。 ・3回の研修のうち2回を保護者参加対象とし、述べ18名の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季研修は教員対象という視点で実施したため、保護者にニーズに応えることができなかった。 ・すべてのニーズのこたえる応えることは難しいが、保護者の声を拾うアンケート等も実施すべきであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者向けに研修会の内容希望調査を行う。 ○PTA予算も活用し、「教員」「教員・保護者合同」「保護者」対象の研修会など多角的に検討し、実施する。 ○生徒指導部と連携した研修企画を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害年金に関する知識は重要である。軽度の障害の生徒にとっては、制度や受け取りの申請方法等の知識が不可欠であることを認識して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他校で実施しているような「障害年金」に関する研修会を実施してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者向けに研修会の内容に関する希望調査を行う。 ○「障害年金」に関する研修や「進路指導部と連携した研修会」を実施する。 ○生徒指導部と連携し、「主権者教育」に関する保護者・職員向け研修会を企画する。